



いいまち 議会だより

国の2次補正 2億円をめぐる激論



第91号 令和2年10月15日

発行：長野県飯島町議会

P3

議会だよりモニターのひとつと
あれどうなった
議会のハテナ?



P4

9月定例会
令和元年度決算を全会一致で認定

P5

令和元年決算評価

P6

総務産業分科会
毎年かかる費用負担の見直しを

P7

総務産業委員会
議会運営委員会



P8

社会文教分科会
みんなが安心して暮らせるまちへ進んだか

P9

社会文教委員会

P10~11

決算・予算特別委員会
国の2次補正の交付金
2億円をめぐり激論



P12

本会議
表決結果

P24

町民の声を議会へ
「ハウオリフラ プアケニケニ」
フラを楽しめる魅力的な町に



町政を問う

ここが聞きたい

11 議員が質問

久保島 巖

地域計画

6次総とは別にしては …… P13

本 多 昇

人口増対策

環境に配慮して宅地化の誘導を… P14

滝本登喜子

「居場所」

「学童クラブ」の環境整備は …… P15

中村 明美

地域未来構想20オープンラボ

登録への考えは …… P16

橋場 みどり

シェイクアウト訓練

取り入れるべきでは …… P17

竹澤 秀幸

町独自のコロナ対策

学校などの水道を自動水栓に… P18

坂本 紀子

環境共生栽培

農産物も数値化を …… P19

三浦寿美子

コロナ対策

息の長い支援を… P20

折 山 誠

コロナ不況

経済活性化施策を …… P21

浜 田 稔

PCR検査

「正確度に欠ける」のか …… P22

好村 拓洋

移住・空き家対策

一体的な取り組みを …… P23

「一般質問」とは
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)
※今回はモニター意見により、顔写真を削除しました。

表紙の写真／「ハウオリフラ プアケニケニ」練習風景

議会だよりモニター のひとこと

第90号 広報紙面に対するご意見

- 表紙の初ドライブスルーの写真は、新型コロナ禍で久しぶりのイベントで良かった。
- 目次ではぜひ読んで欲しい記事に、目を引く印を付けるのはどうか。
また、質問者の顔写真は本文にあるのでなくてもいいのでは。
- 聞きなれない横文字に*で説明があり良かった。
- 新給食センター予定地の写真の中に、子育て支援センターだけしか記載がなくほかの大きな建物にも表示が欲しかった。
- 写真にもう少しカラーが欲しい。(残念ですが予算がありません)

その他のご意見・感想

- 議会のランキングは喜ばしいが、記事の中の「機能強化」とはどんな内容か。
*議会機能強化…基本条例の制定・検証、議員間討議、所管事務調査、修正議決などの取り組みの評価。
- コロナ感染症の中、議会が町当局と対応している姿がよくわかる議会だよりでした。
- ドライブスルーは初の試みで良かったが、待たされたので改善し再度やって欲しい。
- 飯島くらし復興券は飲食など幅広く使えて大変有り難かった。意外と早く使いきった。
- 定額給付金の町対応も早く良かった。
- モニターをやって2年経つが、意見が紙面に反映されているとあまり感じなかった。
- 一般質問の「コロナ禍の防災体制の見直しを」は良い質問で各自治会の機能を考え直す機会になった。自治会長や役員が非常時に命の責任は取れないことをはっきりさせ、各家庭の備蓄と避難は住民自身が自覚を持つ時代になったと思う。

追跡あれどうなった

議員決議書 その後のゆくえ

令和2年6月 臨時会

内容 国・県支援の持続化給付金などが対象外の、中小企業・自営業者に支援を求める。

その後

令和2年7月 臨時会

1事業者15万円で、総額2000万円支給開始。

議会のハテナ？

もうすぐ町議選〈第3回〉



令和元年度決算を全会一致で認定

健全の範囲での将来負担比率：他市町村との違いは

9月定例会は当初9月4日から17日までの14日間の予定でしたが、会期中に令和2年度一般会計補正予算（第6号）が追加され、1日延長し15日間になりました。条例改正1件、契約案件1件、令和元年度決算7件、令和2年度補正予算7件が上程されました。決算全7会計と補正予算全7会計は各特別委員会を設置し、審査を付託しました。請願・陳情5件は各常任委員会と議会運営委員会に審査を付託しました。審査内容と議決結果はP6～P11をご覧ください。

決算

一般会計

歳入 52億9067万円 前年度比 +4.6%

歳出 51億5257万円 前年度比 +7.0%

歳入は町税が前年度比2.3%増、地方交付税も前年度比1.4%増、国庫支出金は前年度比14.5%増、県支出金も前年度比16.5%増となった。地方債は学校エアコンで前年度比48.4%増となり、繰越金は30.4%減になった。

歳出は学校エアコンや林道整備・県営農道整備などの大型事業実施による普通建設事業のため46.3%増で全体を引き上げた。

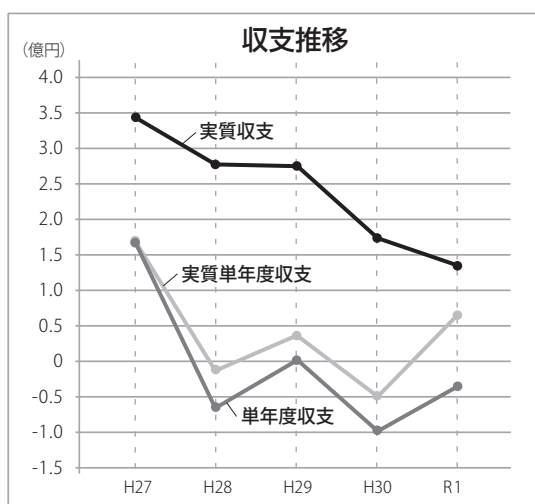
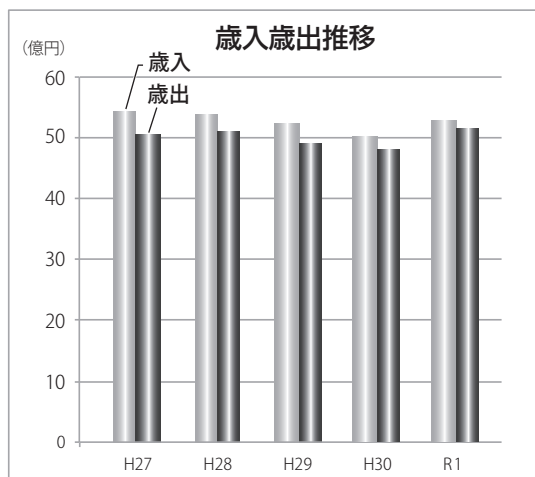
実質収支 1億3228万円（翌年繰越を引いた金額）

単年度収支 △3799万円（前年度からの繰り越しを含む）

実質単年度収支 6371万円（単年度収支から黒字・赤字要素を引く）

実質単年度収支が黒字化されたことは評価された。財政力指数は、前年と同じ0.41で交付税頼みは変わらない。経常収支比率は+2.6で81.6%と上がった。実質公債費比率は+1.2の9.5%で繰上償還が要因。将来負担比率が平成28年49.6%を底に、年々上がり77.6%となった。

県内の多くの市町村が将来負担比率0%となっている中で、かなり目立つ下位にあり、移住定住に影響はないかと質疑があった。見せ方の工夫を他市町村でしているのではないかと。基金の積み増しなどで調整でき、今後財政調整基金などの増額もでてくる。



令和元年度 会計別決算

会計区分	歳入	歳出	差引額	貯金(基金)	借金(公債費)
一般会計	52億9067万円	51億5257万円	1億3810万円	21億5075万円	44億4443万円
国民健康保険	9億2841万円	9億1614万円	1226万円	1億9873万円	—
後期高齢者医療	1億3920万円	1億3632万円	287万円	—	—
介護保険	11億1349万円	10億8759万円	2589万円	4124万円	—
公共下水道事業	4億8498万円	3億9876万円	8621万円	—	34億2259万円
農業集落排水事業	2億3890万円	2億119万円	3770万円	—	17億369万円
水道事業	3億8809万円	4億4694万円	△5884万円	1億150万円	15億123万円
合計	85億8376万円	83億3953万円	2億4422万円	24億9222万円	110億7194万円

*万円未満は切り捨てのため計算が合わない場合もあります。

3.6
(3.2)

()は前年度

町議会議員が決算を5段階評価(5～1)し、その平均を発表。
行政3大事業や財政の年間を通じての取り組みや決算状況を採点・コメント
しました。(無記名アンケート 回収率100%)

財政運営

町の財政状況は概ね健全の範囲
内であるが、問題を含んでいる。

3.6
(3.0)

1. 健全力指標の評価(最高点5)

- ・将来負担比率の上昇は注視。
- ・行政サービスを上げれば、悪化もでる。

3.6

2. 実質収支の動向(最高点4)

- ・改善が見られた。
- ・執行状況を把握し、1億円以下に。

3.7

3. 経常収支比率(最高点5)

- ・県内市町村では良い方だが、経費減を。
- ・硬直化の兆しが見える。

3.4

4. 基金の動向(最高点5)

- ・使う目的をもって上乘せも。
- ・必要以上の積立は不要。
- ・まだ不足している。

3.7

福祉・教育・医療

町は子育て支援策を最重要課題
と取り組んでいる。県下でも少ない
「ひきこもり対策」も実施中。

3.4
(3.6)

1. 子育て支援(最高点5)

- ・他の行政と比べても良い方だ。
- ・学童クラブが手狭だ。移転移設を。

3.7

2. 教育環境整備(最高点4)

- ・ハード面でまだ改善の余地がある。
- ・特別支援学級支援員の増が必要。

3.4

3. 社会教育環境整備(最高点4)

- ・生涯学習、公民館に陰りあり。
- ・ビジョンが見えず消極的。

2.8

4. 医療および健康指導(最高点4)

- ・開業医、ひきこもり支援を評価。
- ・健康ポイント、健康教室を評価。

3.8

産業振興

「儲かる飯島町」を目指して、そろ
そろ結果が求められるが。

2.8
(2.6)

1. 農業政策・地産地消など(最高点4)

- ・衰退に対して守りに留まっている。
- ・農業政策に遅れ、営農組合活動に差があり。

2.9

2. 商工業施策・企業誘致(最高点5)

- ・エコープ、ひかり味噌は評価。
- ・商業の衰退。町外からの企業誘致を。

3.1

3. 観光振興(最高点3)

- ・観光のあり方をしっかり検討すべし。
- ・過大な期待を抱くべきではない。

2.5

4. 森林林業活性化(最高点4)

- ・バイオマス発電の姿が見えにくい。
- ・間伐の更なる推進を。

2.5

インフラ整備・安全管理

住民要望の道路補修は進んでいる。
災害に加え、新型コロナウイルスの脅
威の払拭の安心安全に不安がでた。

3.3
(3.5)

1. 町道整備・橋梁整備事業(最高点5)

- ・優先順位をつけ、前向きな取り組み。
- ・補助金頼りでは現状で仕方がない。

3.8

2. 交通安全・防災・耐震(最高点4)

- ・惰性から抜け出す努力が薄い。
- ・危機感が薄い。COVID-19対策は出遅れ。

2.8

3. 公共施設老朽化対策・耐震化
(最高点5)

- ・老朽化対策では廃止施設検討も。
- ・補助金頼りでは、給食センターのように遅れが。

2.9

4. 上水道・下水道管理(最高点4)

- ・中川村との連携による値下げ検討評価。
- ・公共と農集の統合検討に期待する。

3.3

毎年かかる費用負担の見直しを

令和元年度各会計予算の分科会付託分を質疑しました。

主 な 質 疑

決算

一般会計

◇ 総務課

問 メンタルヘルス・休職など、過去の経過と比べ状況は。

答 年度末に療養者が1名出た。増えてきている状況だ。

問 いいちゃんバスの停留所を、駒ヶ根含め4カ所に増やした効果は。

答 11月から運行し、4カ月で181名増加した。

問 コロナ対策の実施状況は。

答 3月末に本部を立ち上げ、情報共有に取り組んだ。
会議は10回開催。

問 防災無線保守点検費用の約600万円は高いが内容は。

答 設備を熟知しているため、納入業者に委託している。
保守管理できている。

◇ 企画政策課

問 財政調整基金は10億円を超えている。この目標を続けるか。

答 令和2年度当初繰り入れており、現在10億円切っている状況だ。あくまで目標で、柔軟に対応。

◇ 産業振興課

問 ミツバチ腐蛆病が中川村でも被害が出た。当町の現状は。

答 町内で2件発生し、焼却した。養蜂農家は対策して再建したいと考えている。

問 熊の出没が増えており、県内で人の被害も出た。対策は。

答 昨年度は7頭捕獲した。鳥獣保護法の絡みもあるので、現状は捕まえても放している。

◇ 建設水道課

問 安全性に問題のある入居停止住宅へ入居実績があるが。

答 借家の傾きによる危険があり、緊急措置で一時的に受け入れた。現在は退去している。

◇ 会計課

◇ 議会事務局

質疑省略

◇ 地域創造課

問 傘山に来る人は、町にお金を落とす層ではないのでは。

経済的効果を狙うのか、交流人口増に徹するなどの考え方もあるのでは。

答 目的は町民憩いの場。町は儲けを生む必要はないと思う。収益事業を実施している団体などもあるので、バランスをとっていく。

問 営業部のインターネット販売は、最終的に出荷者の自立が目的だったはずだが。

答 町長部局との懇談で認識を確認した。

収益的には人件費がかかり、町の持ち出しが多い。

独立に向けうまくいっていないのが現状で、町をPRしていく方向性だ。

特別会計

公共下水道事業

問 近隣に比べ、下水道負担金が高い。工事実績金額からみて値下げできるのでは。

答 今まで負担した人と差が出るので慎重に検討したい。

農業集落排水事業

質疑省略

水道事業

問 現在の樽ヶ沢浄水場は、土砂災害特別警戒区域内だが、移設などの検討状況は。

答 具体的に決まっていないが、今より小さくなる。金額は10～20億円はかかる。

国の補助を検討している。



土砂災害特別警戒区域にある樽ヶ沢浄水場

予算

補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第5号)と2特別会計の補正予算付託分を質疑しました。

主 な 質 疑

一般会計

問 定住促進補助金の詳細は。

答 空き家の改修費補助金で、例年並みの申請がある。

問 新技術・新製品研究開発事業は需要が出てきたのか。

支援の範囲は。

答 開発費や特許などの専門相談に使える補助で、相談を受けて補正した。工業系は単年度での完了は難しいが、できる範囲で支援する。

特別会計

水道事業 (第2号)

下水道事業 (第1号)

質疑なし

委員会

陳情審査

採 択

◇種苗法「改正」の中止を求める

提出者：上伊那農政対策委員長・

上伊那農業協同組合

代表 御子柴 茂樹 氏

賛成5 反対0

◆内容 地域農業や農家・生産者・消費者の権利を守り、安定した農畜産物・食料を確保するため、種苗法改正の中止を求める。

討 論

賛成 自家採取の権利が大きく制限され農家の負担が増える。

海外流出には効果がないと農水省も認めている。

地域の品種を守っている人たちに制限をかけることになるので中止すべき。

採 択

◇種苗法「改正案」の廃案を求める

提出者：上伊那農民組合

代表 竹上 一彦 氏

賛成5 反対0

◆内容 種子の企業市販を拡大させ、品種の多様性と農民の栽培技術を奪い、日本の多様な食文化を支えてきた農産物の、安定生産への消費者の願いに逆行する種苗法「改正案」の廃案を求める。

討 論

賛成 苗が高くなると、生産者に弊害が出る。消費者も商品が高くなり困る。

多様性のある農家が失われる可能性が大きい。

現場視察

完成した町道北街道縦3号線・七久保宮の上用水排水路新設工事と、施工中の町道南田切線の現場を視察しました。



新設された排水路

議会運営委員会

継続審査

◇「飯島町議会改革について」の陳情

提出者：飯島町四区連絡協議会

代表 七久保区長 野原 正明 氏

継続審査2 趣旨採択2

委員長決済により継続審査に

◆内容

1. 町議会の活性化

2. 定数削減(2減)

3. 25歳から55歳の報酬増

上記を次期選挙(来年3月)までに改革を求める。

討 論

継続審査 陳情を真摯に受け止め、議会内意見交換や住民意見などをしっかり調査検討すべきで、時間をかけ審査すべきだ。

趣旨採択 改革を望む趣旨は理解でき、中身は今後の検討課題。改選後に継続審査は持ち越しはできない。

みんなが安心して暮らせるまちへ進んだか

令和元年度各会計決算の分科会付託分を質疑しました。

主 な 質 疑

決算

一般会計

◇ 住民税務課

問 マイナンバーカードは保険証として利用できるか。

答 読み取り機器のある医療機関では利用可能。無いところでは紙ベースの保険証の利用となる。

問 廃油が粉せっけんになる循環型の取り組みを、教育の一環として学ぶ機会が必要では。

答 「粉せっけんをつくる会」と連携した取り組みを考える。

◇ 健康福祉課

問 ひきこもりの状況は。

答 町は51人を把握しているが、実態はそれ以上と考える。

問 誰もがなる可能性がある。地域住民がサポートする取り組みが必要では。

答 町のひきこもり対策は、県内では進んでいる。
地域互助も取り組みたい。

問 特別養護老人ホームなど、施設入所者が減少しているように見えるが。

答 申込数は増加している。

広域での調整となるため、優先して町民が入所することはできず、待機者は増加している状況である。

問 母子健康手帳アプリ*の状況は。

答 コロナの影響で遅れているが進めている。当面は、アプリと紙ベースで取り組む。

*自治体・医療からの正確な情報提供

問 がんは早期発見が重要。がん検診の受診率を高める取り組みは。

答 検診で精密検査となったら受診するよう指導を強める。特に大腸がんが課題。未受診者を減らす努力を続ける。

◇ 教育委員会

問 保育園への途中入園の課題と対応は。

答 年度途中の保育士確保が難しい状況。入園できるよう調整しているが、希望の保育園へは困難な場合もある。

問 3校の特別支援学級の支援員配置の課題とは。

答 現在クラスに担任が1人だ。支援員を2人体制にしたい。

問 文化館あり方の検討状況は。

答 審議会の答申を受け、直営の方向で検討中。

今後町長部局と協議する。

問 老朽化が心配されている移動図書館車の更新は、どうなっているか。

答 実施計画に盛り込んでいるが、約1200万円必要なため有利な補助事業を模索している。

問 飯島体育館のトイレの洋式化が求められているが。

答 フローリングが劣化し、危険な状態で、大規模改修が必要。その工事に合わせて行いたい。

その他意見 生涯学習はまちづくりの大きな課題である。教育委員会のみでなく、町長部局に対する働きかけも重要である。

特別会計

国民健康保険 後期高齢者医療

質疑なし

介護保険

問 「介護保険計画」見直しの中に、看護小規模多機能施設の開設を盛り込む必要性があるが。

答 在宅介護に必要な施設だが、サービス内容で介護保険料の算定が行われるため、内容充実が保険料の引き上げに直結する。
慎重に検討をする。



早く更新したいな

予算

補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第5号)と3特別会計の補正予算を付託分質疑しました。

主な質疑

一般会計

問 町税全体の傾向は。
答 給与・農業所得は減少傾向。この増額補正は、譲渡所得が約27%増となったため。

問 コロナで未実施になった事業の不用額を、他の事業へ振り替えるなど工夫はしているか。

答 申請受付など、郵送で行う経費に振り替えるなど工夫した。不用財源は、全体のなかで調整することになっている。

問 健康福祉大会が中止になり、骨粗鬆症の検査が行われませんが、代替えを考えているか。

答 この事業は、骨量検査などを東京大学との共同研究で行う計画であった。来年度行いたい。

問 給食センター改築事業の補助の内示があったというが、補助事業上の制約はないか。

答 制約の範囲内で補助額の上限に達しているので、機能付加など変更には、町費で対応する。

国民健康保険

問 特定健診の受診にコロナの影響はないか。

答 7月から実施している。年齢で分け、65歳未満は行った。65歳以上を対象に10月にかけて3密対策をし、実施する。

後期高齢者医療
介護保険

質疑なし

委員会

請願・陳情審査

不採択

「上伊那の高校再編対象校名の速やかな公表」を求める

提出者：高校再編を考える上伊那の会代表 宮下 与兵衛 氏

賛成1 反対4

◆内容 上伊那の高校再編対象校名の速やかな公表・学科案の公表・説明会の開催と議論の機会を設けることを求める。

討論

【反対】 上伊那全ての高校が対象で不要。生徒数減少で再編はやむを得ない。検討会は今後も開催される。任せたい。

【賛成】 伊南の状況が不透明だ。総合学科・総合技術高校がどのような内容か示すべき。あるべき教育の姿を検討するため必要。

【反対】 住民はプロではないので、有識者・専門家に任せるべき。

不採択

「上伊那地域の高校再編に関する」請願

提出者：長野県駒ヶ根工業高等学校同窓会長 鈴木正志氏

賛成1 反対4

◆内容 区内の全日制公立高校の進学率を70%以上になる再編の実施。地区内中学卒業生数に見合った学級・学校数の配置。機械科・電気科・情報技術科を含む4学科以上の高校を配置して、工業教育の強化充実を図ることを求める。

討論

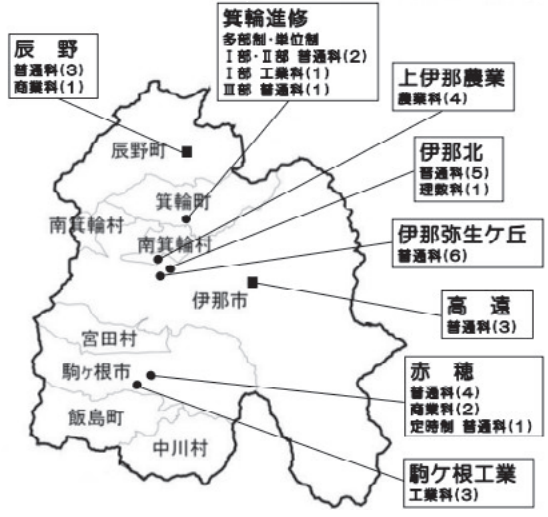
【反対】 進学率は子どもたちの選択の結果である。総合技術高校は上伊那の中にあれば良い。

【賛成】 少人数学級をめざすことは良い教育環境につながる。

地域の中で、地元工業高校が果たしてきた貢献度を大切にしたい。

伊南の高校の存続やあり方は、地域の問題だ。多角的な議論が必要である。

(カッコ内は2017年度の募集学級数)



高校再編は地域全体の問題
(出典：県教委 HPより)

国の2次補正の交付金2億円をめぐり激論

特別委員会は、総務産業・社会文教の2つの分科会を設け、各所管事務の審査を求め、分科会主査報告に対する質疑のあと、理事者への総括質疑・討論を行いました。

結果、それぞれ付託された決算7議案全てを認定すべきもの、補正予算7議案全てを可決すべきものと決定しました。

決算特別委員会

総括質疑

問 将来負担比率が健全の範囲内だが悪化してきている。

町の魅力を損なうのでは。

町長 大きな事業をすればバランスが崩れる時はある。遠くを捉えて成長過程と考えたい。

問 町づくりの基盤となるスポーツや文化活動の生涯学習が、低迷しているのではないか。

教育長 各公民館の館長や主事の成り手不足・過重負担の問題もあり、教育委員会のみでは抱えきれないことが多い。

地域創造課長 地域づくり委員会ではテーマの列举に留まっている。

意見を聴き、検討を進めたい。

意見 生涯学習は、地域創造課や教育委員会の役割分担の見直しが必要。また、町・地域づくり委員会・自治会など複雑な現状の整理を、町長部局も考える時期だ。

要望 コロナ感染症で学校や保育園が委縮しないよう対策と運営を。そのために、公共施設の対策整備（図書館の空気清浄機・移動図書館車の除菌ボックス整備など）を早急に補正予算に挙げることを要望。

討論

令和元年度一般会計決算

賛成 過去4年間決算収支の乱れが問題視されていたが、令和元年度は実質収支の高止まりがほぼ解消された。

実質収支・実質単年度収支のバランスも良く、不用額の発生を抑える財政運用を評価する。

令和元年度特別会計決算

6会計 討論なし

予算特別委員会

追加議案に質疑沸騰！

一般会計補正予算（第5号）

主な財源

- ・地方交付税 1億9700万円
- ・学校施設改善交付金 6660万円
- ・基金繰入 2億350万円
- ・繰越金 6220万円
- ・町債 3億570万円

主な支出

- ・学校給食センター 6億8007万円
- ・飯島町警察官駐在所用地 1030万円

総括質疑

問 給食センターは補助事業採択を受けたが、補助対象外となる機能付加や食育機能の対応は。

副町長 補助金が付くと起債が活用できる。足りない部分は起債や一般財源で対応する。

防災機能や食育機能も、詳細設計中なので検討していく。

討論

令和2年度補正予算

- ・一般会計（第5号）
- ほか5特別会計 討論なし



図書館の入り口に紫外線除菌装置を！

追加議案

一般会計補正予算（第6号）

主な財源

- ・地方創生臨時交付金
2億162万円

主な支出

- ・トレーラーハウス設置事業
8433万円
- ・感染症対策支援補助など
2204万円
- ・避難所及び自治会集会施設など
整備補助
3906万円
- ・文化館・図書館トイレ改修など
2210万円
- ・保育園と各学校トイレ、自動水栓
取付工事、飯小体育館トイレ改修
2139万円

総括質疑

問 定額給付金10万円の支給対象にならなかった、4月28日以降の新生児への給付は考えないのか。

副町長 次回検討する。

問 飯島流ワーケーションとは。

町長 他市町村のテレワークは場所の提供だけだ。飯島は農業塾を含め、地域の文化や人との交流ができる場として、行政・産業・学会・民間の4つが関わるものである。

問 他地域でストレスをかかえている人が、このトレーラーハウスで自活できるのか。

町長 順天堂大学と提携するが、治療ではない。ストレスなどのある人などが、土に触れるなどの体験をして、環境が人に与える影響の調査などをする方向である。データを蓄積していく。

問 町のひきこもり対策に活用できるのか。

町長 地域の人の利用も可能だ。

問 農地付き格安住宅はどうなったのか。トレーラーハウスが5台の理由は。

町長 格安住宅は、移住・定住のためのもので、業者に任せたい。5台は、データを取るのに必要な数である。

問 企業に貸しても、利用者は短期滞在で需要はあるのか。

町長 初めからいっぱいになるとは思っていない。利用の方法は研究していく。

問 町長の謳う『儲かる飯島町』事業は、未だ成果が出てないが。ワーケーションはどうか。

町長 今回の交付金は、新しい生活様式で経済をまわすもので、タイミングが重要だ。

町の将来の4つの柱は、ワーケーション・水力発電・バイオマス発電・廃熱利用農業と考えている。

討論

反対 この補正予算では、コロナ対策として公共施設や図書館の空気清浄機設置など、安全対策が不十分だ。

地に足のつかない事業を優先すべきではない。

賛成 コロナ対策の予算として、住民側に立った新しい生活習慣に手薄ではないかと思ったが、この補正でかなり改善が見えた。新生児への給付金も検討することである。

反対 町長の『儲かる飯島町』事業などに成果が出ていない。先にやるべきは具体的な実績を上げてから、これだけの大型投資に進むべきである。

賛成 ワーケーション事業は、新しい生活様式で経済活性化にチャレンジしていくもので、農業振興・地域の人々の交流や住民福祉のためにも、事業の未来投資と考え、農業と福祉の連携に期待し、賛成である。

反対 ワーケーションは、しっかりした資料や検討結果が無い現状の説明では、納得できない。

第3次の国の補正があれば、その交付金で取り組めばよいので、反対である。



ワーケーション用のトレーラーハウス(類似品)

9月定例会 本会議表決結果

条例など

※議案の採決は、堀内議長を除く11人で行います。

議案名	議決日	注記	賛成	反対	審議結果
税条例の一部改正	即決	新型コロナウイルス感染症に係る	11	0	原案可決
物品売買契約の締結	即決	情報端末機器購入	11	0	原案可決

令和元年度決算

一般会計	最終日	決算特別委員会審査 (P10)	11	0	認定
国民健康保険特別会計	最終日	決算特別委員会審査 (P10)	11	0	認定
後期高齢者医療特別会計	最終日	決算特別委員会審査 (P10)	11	0	認定
介護保険特別会計	最終日	決算特別委員会審査 (P10)	11	0	認定
公共下水道事業特別会計	最終日	決算特別委員会審査 (P10)	11	0	認定
農業集落排水事業特別会計	最終日	決算特別委員会審査 (P10)	11	0	認定
水道事業会計	最終日	決算特別委員会審査 (P10)	11	0	認定

令和2年度補正予算

一般会計 (第5号)	最終日	予算特別委員会審査 (P11)	11	0	原案可決
国民健康保険特別会計 (第2号)	最終日	予算特別委員会審査 (P11)	11	0	原案可決
後期高齢者医療特別会計 (第2号)	最終日	予算特別委員会審査 (P11)	11	0	原案可決
介護保険特別会計 (第2号)	最終日	予算特別委員会審査 (P11)	11	0	原案可決
水道事業会計 (第2号)	最終日	予算特別委員会審査 (P11)	11	0	原案可決
下水道事業会計 (第1号)	最終日	予算特別委員会審査 (P11)	11	0	原案可決
一般会計 (第6号)	最終日	予算特別委員会審査 (P11)	6	5	原案可決

請願・陳情審査決議

種苗法「改正」の中止を求める	最終日	総務産業委員会 (P7)	7	4	採択
飯島町議会改革について	最終日	議会運営委員会 (P7)			継続審査
上伊那の高校再編対象校名の速やかな公表を求める	最終日	社会文教委員会 (P9)	9	2	採択
上伊那地域の高校再編に関する請願	最終日	社会文教委員会 (P9)	8	3	採択
種苗法「改正案」の廃案を求める	最終日	総務産業委員会 (P7)	7	4	採択

※注 郵送による陳情は基本的に議案にならず文書配布されます

意見書の提出決議

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める	最終日	竹澤 秀幸 提出	11	0	採択
種苗法「改正」の中止を求める	最終日	坂本 紀子 提出	7	4	採択
上伊那の高校再編対象校名の速やかな公表を求める	最終日	三浦寿美子 提出	11	0	採択
上伊那地域の高校再編に関する	最終日	三浦寿美子 提出	8	3	採択

賛否が分かれた議案の表決結果

○は賛成 ●は反対

議案名	滝本登喜子	三浦寿美子	久保島巖	中村明美	橋場みどり	好村拓洋	折山誠	坂本紀子	浜田稔	本多昇	竹澤秀幸	堀内克美	審議結果
令和2年度一般会計補正予算(第6号)	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	△	原案可決
種苗法「改正」の中止を求める陳情	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	△	採択
上伊那の高校再編対象校名の速やかな公表を求める陳情	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	△	採択
上伊那地域の高校再編に関する請願	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	△	採択
種苗法「改正案」の廃案を求める陳情	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	△	採択
種苗法「改正」の中止を求める意見書	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	△	採択
上伊那地域の高校再編に関する意見書	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	△	採択



久保島 巖

地域計画

同時策定で進めたい
町長

6次総とは別にしては

問 第6次総合計画に地域計画を入れ込んだ経緯と考え方は。

町長 研究の結果、総合計画の理想形として、地域経営計画型が良いという結論を得た。

問 7月の全協で素案の説明があったが、まとまっていなかった。

新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、日程に変更はあるか。また地方創生総合戦略の扱いは。

企画政策課長 各地域で地域計画の素案を検討している。新型コロナウイルス感染症対策で、地域の議論が進まない時は、柔軟に対応し

ていきたい。地方創生総合戦略は今回の総合計画に入れ込んでいく。

問 総合計画はざっくりとした10年計画とし、別に地域計画を立ててもらえませんか。また作って終わりではなく、計画進捗や住民参加を競う「まちづくりコンテスト」を開催しては。

企画政策課長 町が全体計画を示し、その後地域が別に計画を立てることは想定していない。ただし、地域が自らの判断とタイミングで地域計画を策定することは歓迎する。立ち上げなので、地域に負担にならないよう、柔軟に対応する。「まちづくりコンテスト」の提案は参考にしたい。

ICT化の推進

問 新型コロナウイルス感染対策で、在宅ワークやオンライン会議などが広まったが対応は。

町長 6月以降オンライン会議は増えており、問題なく参加できている。今後、町が主催の会議を開催できる環境を整えていく。在宅ワークは、テレワークも含め検討を進めている。

問 庁内ネットワークシステムの見直しが必要だが。

総務課長 シンククライアントシステム*1の再構築は、昨年度から準備している。先進地の自治体へ出向き、研究・検討を進めた。在宅ワークを視野に入れたシステム構築を検討中である。

*1 パソコン端末にデータやソフトを置かず、それらの資源をサーバ側で一括して管理するシステム

問 「新たな日常」の為にも、オンライン会議用の貸出可能な機器や、窓口対応チャットボット*2

・スマホアプリの対応が必要だが。
*2 会話ロボット

総務課長 オンライン会議用ディスプレイなどを検討している。

新型コロナウイルス感染症蔓延が心配されるなかで、非接触型の行政サービスは必要と認識している。役場に来なくても手続きできる電子申請の環境整備や、いつでも問い合わせに対応できるシステム構築の検討が必要と考えている。

「飯島流ワーケーション」

問 ワーケーションは町が主導しないと難しいが。

町長 行政がしっかり取り組む。最終的には自立したビジネスにしていきたい。

問 コンテナハウスでなく、空き家・空き店舗利用をすべきだ。

町長 トレーラーハウスで、グレードの高い空間を提供する。地震に強く移動でき、いらなくなったら売れる利点がある。

問 高速通信環境整備の導入は。

町長 そのような整備もいる。

〔以上3件質問〕



葛飾区スマホアプリより



本多 昇

人口増対策

土地政策を推進する 町長

環境に配慮して宅地化の誘導を

問 人口増対策統括本部設置の目的は。

副町長 定住促進・子育て・婚活・情報発信・魅力向上の重点プロジェクトを、第6次総合計画の中へどう反映させつなげていくかを検討するため設置した。

問 人口増は、子育て世代の移住を促進し、住んでもらうこと。

促進に重要なことの一番は、宅地が容易に取得できることだ。

町は民間事業者に住宅地開発を任せ、造成を行わない方針だ。

開発を促進するためには、開発地域を提供するのが早い。

環境に配慮して宅地化の誘導を図ることが必要ではないか。

副町長 子育て世代を重点に移住・定住をしてもらう。空き家の活用などもあるが、容易に宅地が取得できるよう土地政策を推進していく。

地域の不動産組合の意見を聞きながら、建てやすい地域を設定して、総合計画と併せて土地利用計画見直しを進める。

実質収支

問 実質収支が1億3228万円となり、従前の数値に戻り改善されてきたことを評価する。

実質収支比率が6年ぶりに4.04%となり、健全とされる目安の中に入ったが要因は。

企画政策課長 年度途中で執行状況を確認し、適時補正をかけ、財源を有効に活用して事業を実施した。

最終段階では、繰越額を見込みながら、新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた上で、財政調整基金へ積立をした。それにより収支が拮抗し、実質収支比率も健全な範囲になった。

空き家管理

問 空き家の管理は自治会の協

力がなくては、外回りの適正な管理ができない。

河川清掃の時など、道路側に出ている枝くらい切ってほしいと思うが、自治会に協力要請をしているか。

建設水道課長 家屋の状態の悪い物件は、自治会に協力を打診している。しかし、空き家は個人財産であるため法の縛りがある。可能な範囲で自治会に協力をお願いしていく。

町道芝宮線

問 町道芝宮線の改良工事は、上通り部分156mの工事が着工されず11年が経過し、現在に至っている。今年度ようやく芝宮線の測量設計業務が予算計上された。

現在の進捗状況は。

建設水道課長 測量設計業務の予定をしていたが、補助金が見つからないため取り組みができていない。

問 非常に危険な箇所があり、早急に対応を求めるが。

建設水道課長 先行して路面の標示・注意喚起看板、地元の要望を聞いて緊急的に対処する。

〔以上4件質問〕



町道芝宮線の危険箇所

「居場所」

「学童クラブ」の環境整備は

トイレ・設備を交付金で対応 町長



滝本 登喜子

問 学童クラブは「居場所」としての運用でもあり、飯島小の利用者が増えている。コロナ禍の中、部屋でソーシャルディスタンスはとれているか。

教育長 クラブの運営には、体育館で遊ぶなどして、距離はとれていると考えているが、完全な密の解消には時間と検討が必要だと考える。

問 具合が悪くなった児童が休養する部屋が、開設当初から設置されていない。回復して帰宅できる環境は確保されなければならない。保護者からの指摘はなかったのか。

教育長 具合が悪くなった児童は、保護者に連絡し自宅で休養するという考えであり、問題はなかった。迎えまでの間、休む場所も必要なので検討する。

問 飯島小体育館のトイレは学童クラブも使用している。和式

であり、感染症対策としても改修を求めるがどうか。

教育長 衛生環境の整備として検討しており、洋式化の準備を進めている。

問 飯島の学童クラブの熱中症対策は。指導員の部屋には扇風機1つしかないが。

教育長 今付いているエアコンは老朽化しており、今回の交付金を活用したい。指導員の部屋も検討する。

問 今はコロナ禍の中で、地域との交流やイベントの参加はできないようだが、参加時の保険は掛けられていない。

どうのことか。

教育長 学童全員が参加する場合は現在の保険で対応できるが、全部適用するには、今の800円の倍近い金額となり保護者負担が増える。保険はイベント主催者の保険で対応できるのではないかと考える。

問 ひきこもり対策としての「居場所」づくりの現状は。

健康福祉課長 29年度より「ひきこもり支援員」を配置し、今年度より取り組みを始めた。「居場所」の運営は社協に委託しているが現在利用はない。

すぐに支援につながることは難しいが、サポーターの登録も増えており、地道に引き続き取り組んでいく。

子育てワークスタイル

問 参加企業の状況と町の取り組みは。

地域創造課長 役場も含め8企業が宣言した。「女性ライター講座」の受講者が事業所の取材をして、素晴らしい取り組みをHPなど通して発信する。

役場は制度的にはできているが、取りまとめたものはない。

問 この事業の取り組みを今後どのように発展させるのか。

町長 このような取り組みが増えるよう、企業訪問や新しい働き方勉強会など、開催したい。

今後は予算確保も含め推進していき、提案のあった企業内の託児所などの方策も考えていきたい。

〔以上2件質問〕



和式トイレの改修を



中村 明美

地域未来構想 20オープンラボ

登録への考えは

十分に検討したい 町長

問 国の第2次臨時交付金を活用した町の目玉政策はなにか。

町長 「飯島流ワーケーション」である。文化・地域交流・農業プログラムを作成し、住民協力で行う。滞在期間は3日～1週間。また、大学の研究室とタイアップしながら進めていく。

問 この補正は、コロナ禍のピンチをチャンスに出来る事業で、町がやりたいこと、やらねばならないことを明確にする必要がある。

内閣府の創設した教育を始め20項目の事業「地域未来構想20

オープンラボ」の内容は、

- ①エリア戦略
 - ②掛け算戦略（相乗効果）
 - ③地域経済への成長戦略
- である。

「新しい生活様式」で将来発展を進めるため、民の力を導入しては。

現状認識と、登録への考えは。
地域創造課長 事業要望などで参考事例や関係省庁との連携はないかなど、研究している。

登録は必要であれば検討する。

問 将来を見据えたオンライン教育に「地域未来構想20オープンラボ」の活用を提案するが。

町長 今後研究していきたい。

問 保育関係者は、小さな子どものコロナ感染予防に、今まで以上に気を張って保育にあたっている。

介護・医療従事者と同様に、保育関係者へ町独自の慰労金給付を。

教育長 国・県の動向に注視したい。

問 国・県の動向を見てではなく、教育長・町長の保育関係者への思いがあれば給付をすべきでは。

町長 何かあればお金をもらえということではなく、それぞれの努力を理解しながら、次へ進

む考えでなければと思っている。

オストメイトトイレを

問 臨時交付金の補正予算で、文化館は設置予定だが、役場の設置計画はあるのか。

総務課長 早急に整備できるよう検討していく。

「マジイイ☆子育てワークスタイル」

問 推進宣言の8企業は、子育て世代の従業員には、子どもへの配慮が重要視されていた。

若者定住推進にもつながる事業となるよう拡充を求めるが。

地域創造課長 今年度は国の補助金を活用し、事業所向けのオンライン環境の整備も含めた在宅ワークセミナーを開催したい。

若者や子育て世代に魅力がある環境構築に向け、事業者と意見交換をしていく。

問 「くるみんマーク認定」は、子育てサポート企業をPRでき、イメージ向上・人材確保へのメリットがある。

この制度の企業周知は。

産業振興課長 「くるみんマーク」ではなく、町独自で認定制度として取り組んでいる。

〔以上3件質問〕



20オープンラボ 我が町の未来に生かす!
(出典:内閣府HPより)

シェイクアウト 訓練

取り入れるべきでは 地震総合防災訓練のなかで 取り組みたい 町長



橋場 みどり

問 シェイクアウト訓練とは、日頃から危機意識を高く持つことで対応力を高め、実践的な防災能力を身に付ける、2008年アメリカで始まった訓練。

参加者が同じ時間に家庭・職場・学校など、居る場所で身を守る行動をとる。

実践的訓練として取り入れるべきでは。

町長 地震総合防災訓練の冒頭で、明確に指示し、住民がシェイクアウト訓練を確実に実施できるよう取り組みたい。

訓練の繰り返しや回数を増やすことも必要だ。

問 新型コロナウイルスマニュアルと、新型コロナウイルス避難所開設マニュアルがない。

作る予定はあるのか。

町長 新たなマニュアルの作成計画はない。現状の感染症マニュアルに、国・県が示す新しい生活様式を取り入れ対応する。

避難所での感染症マニュアルも国・県のガイドライン・マニュアルを活用する。

総務課長 感染症対策を盛り込んだ指定緊急避難場所・指定避難所開設マニュアルを作ったので、まずはこれを普及したい。

問 危機管理係は、消防団本部と災害対策本部を兼務することになるが、職員が少ない。

増やす予定はあるか。

総務課長 町が開設する避難所要員・ライフラインの確保など、危機管理係に限らず職員が不足しているのが現状。

災害対策本部の中で、関係職員の連携により対応。

問 避難所運営に必要なスタッフ・防護物資は足りているか。

総務課長 発災後、数日経過すると運営組織が必要になる。

指定緊急避難所は、区の役員を中心に、一部職員やボランティアを想定している。

防護対策は、フェイスシールド・衛生資材備蓄を用意する。

問 微熱・咳症状のある人の避難所での誘導と判断基準は。

総務課長 明確な基準は示せないが、危険から身の安全を守ることが前提。

発熱の人は、別の部屋に入ってもらふ予定である。

問 衛生環境対策や水の確保は十分か。

総務課長 国の交付金を防災活動支援として活用し、避難所への衛生資材の確保を進める。

水の確保・配備は十分ではないのでしっかり検討していく。

問 運営スタッフとして配置される職員・自主防災会の役員などを対象の避難所受け入れ訓練が必要では。

町長 必要だと認識している。

新型コロナウイルスが終息の折には、町民の協力の中で役員を含め、受け入れ訓練の実施を考えている。

半鐘の復活を

問 遠くまで聞こえる半鐘の復活を望む声があるが。

総務課長 町内に現存している半鐘やぐらは10カ所あるが、老朽化や管理も不十分である。

消防団も打鐘訓練をしていないので、考えていない。

〔以上2件質問〕



シェイクアウト訓練
(転載：The Great Japan Shake Out より)



竹澤 秀幸

町独自の コロナ対策

学校などの水道を自動水栓に 順次整備を行う 町長

問 小中学校・保育園など、水道蛇口を感染拡大防止のため、自動水栓へ変更することが必要だが。

教育長 設備や衛生面を見直し、更新する。

教育次長 小中学校では、610のうち77カ所。3保育園と子育て

支援センターは、290のうち90カ所を自動水栓に更新する。

問 秋以降、コロナとインフルエンザの同時発生予想がある。

65歳以上の高齢者が負担している予防接種1700円を、無料にしてはどうか。

町長 予防接種は重症化を防ぐ効果があるので、一部公費負担している。

無料化は慎重に研究する。

問 職員のテレワークを、箕輪町と伊那市が先進的に取り組んでいる。

町の取組みは。

副町長 両市町とは規模・やり方も違うので、当町に合ったやり方を研究し、実施したい。

子育て支援政策

問 宮田村で実施している高校3年生への通学費補助や、出産祝い金など、各種祝い金の検討を求めるが。

教育長 遠距離通学は、県の奨学金制度など支援策はある。

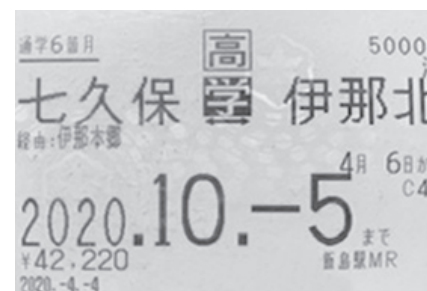
町は子どもの成長を願った支援を実施している。

祝い金は、必要な人に必要な時、手厚い支援を基本としている。

全員一律の支援は慎重に検討したい。

町長 当町は独自の支援が各種ある。

宮田村の真似よりも、独自の政策で総合的に捉えていきたい。



七久保 - 伊那北 半年で4万円

自力避難困難者 個別計画策定を

問 地球温暖化・異常気象が続く今日、国は災害時に自力避難困難な高齢者・障がい者が逃げ遅れるのを防ぐため、個別計画策定の方針を固めた。

県内で策定しているのは11自治体だが、当町で策定する考えはあるか。

健康福祉課長 近年の災害では、65歳以上の高齢者の犠牲者が増えている。

災害時要支援者の被害を減らす取り組みは、大きな課題となっている。

最終的には策定したいが課題も多い。

できるところから順次進めていきたい。

そのほか 飯島町税条例の一部改正で寄付金控除について質しました。

〔以上4件質問〕



自在水栓（施工前）



センサ式自動水栓（施工後）

環境共生
栽培

農産物も数値化を

「パートV」でも検討 町長



坂本 紀子

問 「地域複合営農への道Ⅳ」は環境に優しい・資源循環型農業と生物多様性の確保などを掲げ取り組んできた。

「パートV」は何が変わるのか。

産業振興課長 平成2年に始まった取り組みで、「パートⅣ」の柱は、1000ヘクタール自然共生農場作り。

環境共生栽培（化学肥料・農薬の使用を県基準の50%以上削減）で、米の「越百黄金」の普及に取り組んだ。

「パートV」でも継続し、さらに進める。

問 力を入れることは何か。

産業振興課長 経営規模に格差があり、担い手の高齢化も課題だ。

人材の確保と組織営農のあり方を見直すことを目標とする。

問 コロナが世界中で蔓延する中、イタリア・フランス・韓国では、学校給食から安全を確保しようと有機食材利用が進んでいる。

新給食センター建設の機会に、食材の地産地消・環境共生栽培の野菜利用を盛り込むべきだ。また、生産者をサポートする制度として、定額で生産物を引き取る制度を提案するが。

産業振興課長 今、給食米は「越百黄金」を使用している。

野菜の使用率を高めるには、

供給と適正価格のマッチングが重要であり、町内農業組織の意見を聞き研究していく。

問 環境に優しい農業に移行するには、面積の大きい果樹・栗・花など、農薬使用者の協力と理解が必要。

数値目標の記載が必要だが。

産業振興課長 検討していく。

問 新規就農者の中には、農薬飛散ネットで覆わず乗用農薬散布機を使用し、近くの子育て中の家からクレームがある。

指導しているのか。

産業振興課長 圃場が住宅地に隣接する場合は、飛散ネットをするよう指導していく。

問 循環型農業には、学校や家庭で出る生ゴミ・家畜の糞・キノコのオガ屑などを堆肥化し、土へ戻す取り組みが必要だが、現状は。

産業振興課長

提案された堆肥化は有効であり、研究したい。

問 農業者の人手不足解消に「町がプラットホームとなり、中高年や子育て中のお母さんなど」とつなぐ仕組み

を作る」としていたが、進んでいるのか。

産業振興課長 昨年から草刈サポーター制度（26人登録）で畦畔の草刈りをしている。花・栗・水稻の経営者と懇談会をし、人手を回す仕組みができるか意見交換をした。「パートV」でも引き続き検討する。

問 コロナ禍で、自立した町として食の生産地であることは大事である。「パートV」は検討に終わらず実行して欲しいが。

町長 農業も産業であり儲かなければ後継者もない。儲かる農産物を作り、販売につなげるシステムを構築しなければならない。「アグリイノベーション2030」*で市場に合致した商品を6次産業で作りたい。

*飯島版の農業改革 20・30歳代の挑戦

〔以上1件質問〕



生物多様性はだいじ！



三浦 寿美子

コロナ対策

息の長い支援を 提案として研究する 町長

問 新型コロナウイルス感染予防は、3密を避けるのが基本。衛生管理上換気の難しい業種では、客の人数を制限するなど、苦しいなか努力をしている。

感染リスクを下げる室内の空気清浄機が開発され、市場に出ている。密室が避けられない飲食店などに設置すれば、事業者も利用者也安心できる。

追加上程された補正予算の事業対象となるのか。

町長 対象になる。

飲食・小売・サービス・医療や福祉施設に、換気機能を有するエアコン・空気清浄機などの

導入への補助制度を創設するものだ。

問 空気清浄機の設置補助は、息の長い支援が必要だ。

住宅リフォーム補助の対象とするか、新たな制度が必要だが。

副町長 常時の制度となると財源も考える必要がある。

提案として研究したい。

問 集会所・学童保育施設・文化館などの公共施設に、空気清浄機が盛られている。しかし、対象に入っていない公共施設もある。

社協や「やすらぎ」などへの設置も必要だが。

今後どうしていくのか。

総務課長 7月の臨時会で、文化館に空気清浄機5台の導入が認められ、設置を進めている。

今後、役場庁舎をはじめ、他の公共施設も設置に向けて検討している。

導入の機種は、人体に影響が少なく、滅菌効果の高い循環型紫外線式の空気清浄機を基本に、検討している。

「介護保険事業計画」

問 次期の「高齢者福祉計画」

「介護保険事業計画」を策定中。

3年前と人口動態など、状況が変わっている。内容の違いは。

健康福祉課長 高齢化率は2.2%上昇。介護認定者数は横ばい。保険給付費は伸びている。

75歳以上が増加。65歳以上のみの世帯・ひとり暮らしが増加する見込み。

介護認定者数・保険給付費は更に伸びる予想。

2025年問題に対応する地域包

括ケアシステムの整備。

現役世代が急減する2040年を念頭に、自立し住み慣れた地域で暮らし続けられるように、充実を図りたい。

問 伊那市では8月から、看護小規模多機能型居宅介護事業が始まっている。

これは、小規模多機能型介護事業に訪問看護サービスが含まれ、胃ろうや血糖値測定などの医療行為が受けられるようになる。

策定中の「介護保険事業計画」に盛り込むよう提案するが。

健康福祉課長 在宅生活を続けるための支援など、需要は高まると考える。

地域密着サービス運営協議会の意見を参考にし、利用者ニーズや介護保険給付費の見込みなどと併せて、慎重に協議する。

〔以上2件質問〕



紫外線式の空気清浄機
(出典：岩崎電気(株) 総合カタログより)

コロナ不況

経済活性化施策を

臨時交付金で取り組む 町長



折山 誠

問 新型コロナ対策の今年度前期の取り組みと評価は。

町長 4月に、町商工業振興資金融資の経営安定化資金限度額の引き上げ・融資期間の延長を行った。また、利子補給・融資枠も拡充し資金繰りを援助した。

5月には、10万円の特別定額給付金の給付を開始。町内飲食店のテイクアウト企画を商工会と連携しPRした。

6月には、高プレミアム付の「飯島町くらし復興券」を販売した。小売・飲食・建設・医療・福祉・介護など利用範囲を拡大して利便性に努めた。

8月には、国の持続化給付金や県・市町村連携協力金・支援金の対象とならない事業者に支援を開始した。

全体として、国・県に町単独の支援策を併せ、迅速に対応した結果、概ね評価いただけるものとする。

問 今年度後期の取組は。

町長 今定例会に追加上程している第6号補正で、地方創生臨時交付金2億円のうち、3分の2を財源として直面するコロナ対策に努める。

残りは未来への投資に充てる。

問 コロナ対策として、協力隊制度を活用し、異業種間の人材交流を町が主導する考えは。

町長 適した人材の確保が課題

だが、対策の1つだと考える。

問 町の都市的魅力の一翼を担うアイタウンが、コロナ不況の影響・後継者問題・借地契約期限到来などの課題を抱えている。組合運営が重荷となっているようだが、支援する考えは。

町長 コロナ・後継者問題は国全体の課題でもある。それぞれの状況で皆が頑張っている。

方向が見えれば支援を考える。

子育て支援充実を

問 子育て世代は、上下水道料金の負担軽減を求めている。切実な要望をどう受け止めるか。

建設水道課長 上水道は、中川村との広域連携に合わせ、子育て世代に限らず全体的な値下げを検討している。

下水道は、プロジェクト会議で負担軽減を検討している。

問 未満児の保育料の負担軽減を求めるが。

教育長 未満児の入園率が50%程で、不公平感があり今は困難。今後、国・県の動向や近隣地域全体の流れにより考える。

新学校給食センター運営の充実を

問 新施設では、給食機能のほか、児童生徒に対する食育の中核施設としての機能付加を求めるが。

教育長 学校栄養士が教室を回り、給食便りを発行しながら食育を進めている。新施設を活用しさらに食育教育を充実する。

問 建設に伴い、農家間とのネットワークを構築し、これまで以上の地産地消を求めるが。

教育長 センターと農家をつなぐコーディネーターは重要と思う。
〔以上3件質問〕



食育の基地になるか

学校給食センター建設予定地



PCR検査

政府が見解を出すべき
町長

「正確度に欠ける」のか

問 町長は6月議会で「コロナ感染を調べるPCR検査は正確度に欠けていて30%程度」と答弁した。

町の公式見解としては不適切ではないか。

町長 行政の立場として安全確保のため、伝えられる情報の低い方の数字を説明した。

問 PCR検査は、感染者を正しく陽性判定する「感度」と、非感染者を正しく陰性判定する「特異度」のセットで正確さが決まる。

感度は感染後の日数によって

変化し、最大70～88%というのが感染症学会の参考データだ。

特異度の値を研究者に直接尋ねたところ99.99%以上とのこと。

「感度」の数値だけを挙げて
検査への信頼を損なうべきでは
ないが。

町長 この件は議論百出で、いろいろな人がさまざまな説明をしている。

政府がきちんとした見解を出すべきだ。

問 感染者から経路をさかのぼるクラスター対策では、半数が追跡できていない。隠れた感染集積地があり、無症状でも感染力の強い地域が増えているのではないか。

全国・都の医師会は、徹底したPCR検査でエピセンター（感染集積地）の発見と対策を求めている。

県にも同じ対策を求めるべき
だが。

総務課長 県はクラスター対策と感染状況に応じた警戒情報の発信をしており、県外の感染も監視して注意喚起している。

エピセンターの調査まではとてもできないとのことだ。

コロナ禍を踏まえ 6次総も見直しを

問 町の第6次総合計画案では、リニアで3大都市を結ぶスーパーメガリージョンを基軸に置いている。しかしコロナ禍で大都市圏の危険性が明らかになった。

一極集中に期待する表現を取り下げるべきではないか。

総務課長 スーパーメガリージョンは、人・物・金・情報の動きをとらえた国家プロジェクトである。

優先ではないにしても計画を視野に入れておく必要はある。

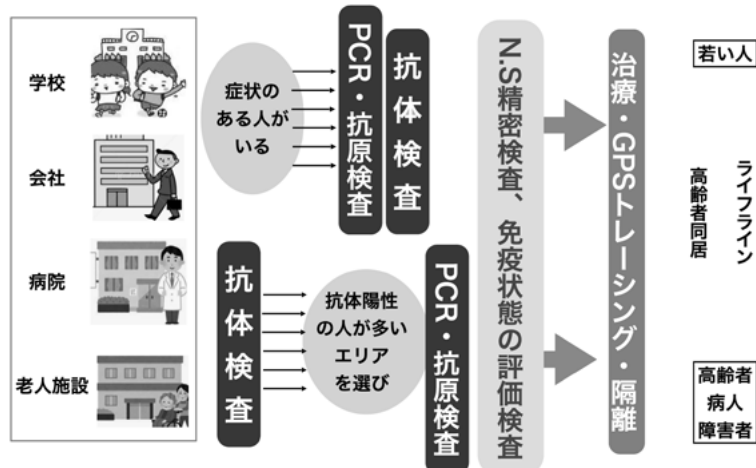
問 学校・公共施設・飲食店など人の集うところに、感染症対策の技術を積極的に取り入れるべきではないか。

都会の人々には大きな魅力になるが。

総務課長 新しい生活様式に対応した強靱なまちづくりを第6次総に入れ込んだ。

〔以上2件質問〕

無症候の感染者を学校、会社、病院、お店、地域の
全員検査のシステムで安全・安心を取り戻す



出典：7/16 参院予算委員会 児玉龍彦 東大名譽教授資料

隠れた感染源に対策を

移住・空き家 対策

一体的な取り組みを

取り組む価値はある 町長



好村 拓洋

問 5月の東京は、転出超過1059人となり、2011年の東日本大震災以来のことだ。

今、着実に地方に目を向ける人が増えている。

町の移住・定住の現状は。

町長 令和元年度は、30世帯59人で、前年度比6割に減少している。

問 新型コロナの影響もあると思うが、6割に減少した理由を分析しているか。

地域創造課長 新型コロナの影響で移動制限があり、来れない人もいた。

今年度に入り、4・5・6月は反動で増えている状況だ。

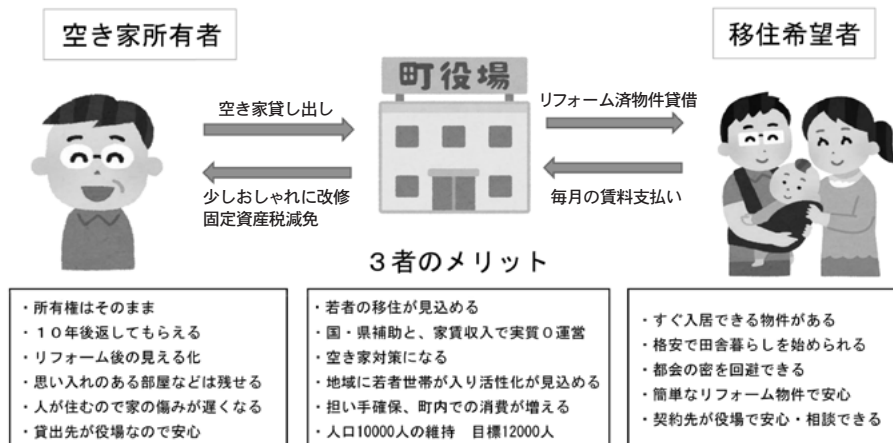
問 町内の空き家件数181件、所有者の4割が売却や賃貸の意向となっているが、現状は。

地域創造課長 町のHPで紹介できているのは25件。相談会・広報紙・ケーブルテレビを通じて利活用の呼びかけをしている。

伊南不動産組合とも連携して取り組み、昨年度29件の成約があった。

問 高知県梼原町では、町が空き家を一定期間借り上げ、リフォームし移住者へ貸し出し、定住を促す取り組みを行い、成果を上げている。

梼原町のHPでは、空き家が43件掲載されており、現状その全



2020.9月 梼原町の取り組み参考例 作成者 好村

「空家所有者・移住希望者・町」3方良しの事業を

てが入居中で、移住平均年齢は39歳だ。

リフォーム財源は国・県の補助と、10年間の家賃収入で実質ゼロ運営だ。

当町の移住政策を次のステップへ移行し、少子高齢化対策としても取り組むべきと考えるが。

町長 興味深く聞いた。町もよく研究しなければならない。

今後取り組む価値はあると思う。

自然エネルギー 取り組み状況は

問 当町で計画されているバイオマス発電と廃熱利用・企業局の小水力発電の状況はどうなっているか。

副町長 現在アドバイザーとして1人委嘱しており、各関係会議と一緒に出席してもらい、専門的な見地からアドバイスを受

けている。

廃熱利用はアグリノベーション2030に活かせるよう研究中だ。

問 町は企業局の余水を使って発電できないか検討した経過があるが、その後の状況は。

副町長 専門家のアドバイスを受けながら、どういう関わり方がいいか検討中だ。

問 梼原町では、自前の風力発電・水力発電を実施し、自主財源の確保もしている。

自主財源確保を謳う町長の考えは。

町長 森林資源・水資源の活用は、将来町の大きな柱になると思う。企業局へ、町も一緒にできないか声かけした。

細かい参入方法や事業計画はシビアに研究したい。

〔以上2件質問〕

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様に取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は「ハウオリフラ プアケニケニ」代表 北林里衣子さんに登場していただきます。

フラを楽しめる魅力的な町に

地元飯島町でフラを楽しむ場を作ろうと一念発起し、みなこい体験教室イーラなどに参加し、一緒に踊る仲間を募りながら練習に励むこと数年。

生協ケアセンターの設立時よりご縁があり、やまなみスタジオを拠点に練習を重ねてきました。

昨年の春体制を整え、共同で「ハウオリフラ プアケニケニ」というグループを立ち上げました。

こすも市やいいちゃん文化祭・産業祭りなどのイベントや、各地区の祭りや敬老会などたくさんのイベントに参加。

町内に限らず他市町村の施設にボランティア訪問し、いろいろな方々に楽しんでいただいています。

「踊る人も観る人も楽しくハッピーになるように」をモットーに活動しています。

昨今は、コロナウィルスの影響でイベントがことごとく中止になり、介護施設やデイケアセンターなどへの訪問も

出来ない状況となっています。

そんな中でも「体を動かしたい、練習を続けたい」との声が多くあり、3密を避け出来る限りの対策をしながら、成人大学センターや、コスモス園をお借りしてレッスンをしています。

フラの魅力はいろいろあります。伝統的な衣装で見た目を美しく整えたり、音楽を聴くだけで心が癒されたり、身体すべてを使い歌詞を表現することで、全身の筋肉と脳が鍛えられ、代謝もアップします。

自己表現の場であると同時に皆で楽しみを共有することで、他人とのコミュニケーションにより成長を実感したり、元気をもらったりします。

コロナウィルスが収束すれば、皆様に披露することができ、自分たちだけでなく、観



てくださる方々にも楽しんでいただけるので、元気を与え笑顔にすることができると思っています。

現在メンバー募集中ですが、子どもたちや若い人にも参加してもらい、元気を与えられるようなグループに成長して、町の活性化にも貢献していきたいです。

町や議会に望むこと

イベントなどには積極的に地元のグループを呼んでいただき、一緒に芽を育てていただくようご支援・ご協力をお願いいたします。

議会だより

クイズ

問題

5台購入

〇〇〇〇〇〇ハウス

ヒントは
11ページに

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は11/30、発表は発送をもってかえさせていただきます)



応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

編集後記

「祭り無し かの日の膳の 栗おこわ」
今年はイベントなども無くて
やはりにぎわい寂し、人恋しですね。

発行責任者 議長 堀内克美

編集委員 ◎滝本 ○好村
三浦・久保島・坂本・本多